



大北小だより

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

10月号

平成27年 9月 30日

練馬区立大泉北小学校

校長 小島 英樹

“言葉が、子供の心と行動をつくる”

校長 小島 英樹

「てめえ、なに、もたもたしてんだよ！」

停車した揺れに気付いて、スマホ画面から目を離れた若い母親が、ゲーム機に夢中になっている幼い子供に下車を促した時の言葉です。

今月、文化庁から「国語に関する世論調査」の結果が発表されました。それによると、子供の言葉遣いに与える影響について、「ゲーム機やインターネットによる影響が大きい」との回答が47.5パーセントと約半数を占め、14年前の調査に比べ、大幅な上昇となりました。

また、「家庭で言葉遣いについて注意されたことがない」との回答が43.5パーセントに上り、同じく1.6倍以上の急激な上昇となりました。

反対に、「今の国語が乱れているとは思わない」との回答が過去最高の23.5パーセントに達し、15年前の2.2倍以上となり、中でも16～19歳では40パーセント以上にも達したとのことです。

これらの調査結果を受けて文化庁では、「パソコンやゲームが大人から子供まで浸透し、家庭での会話が減っていることが影響している」と分析しています。

そういえば最近、車内の7人がけ座席に座っているほぼ全員が、若者から年配者までスマホ画面に釘付けになっている光景が一般的になりました。これだけゲームやインターネットが普及すれば、人々の日常生活や思考回路にも大きな影響を与えることは当然と言えます。大人から子供まで、LINEなどのSNSによって多くの“仲間”を得たと錯覚し、“つながっている”と勘違いし、ほとんど単語のみの往復で“会話”を済ましてしまっているのですから。

そしてその影響は、年配者よりも若者に、若者よりも子供たちにより重大な害悪となって表れます。なぜなら、メールやLINEでは、相手への挨拶やご機嫌伺いなどは省略され、まして相手の目を見て話したり、聞いたりすることや、うなずいたり、あいづちを打ったりすることや敬語を使ったりすることはまったく必要なく、結果として人と人とが良好な人間関係を築くために大切なことを学ぶ経験をしないままに“大人”になってしまうからです。

また今月は、文部科学省からも昨年度の「問題行動調査」の結果が公表されました。それによると、小学生の暴力行為が2年連続で1万件を超え、過去最多になったとのことです。やはりこちらもゲームやインターネットやLINEなどが幼児期から与えられてきた影響と見る事ができます。

直接、人と会ってわずらわしい会話をしなくても、自分の都合のよい時間に、自由に、ストレートに、親に知られることなく、自分の要求を一方的に相手にぶつけられる便利な機械は、子供にとって“打ち出の小槌”のようなものです。

その代わりに、自分が求めた時に即座に期待した反応が得られないと感情的になり、相手を責め、攻撃的になります。だから、ささいなことからトラブルになり、しかも解決のために妥協したり、歩み寄ったりした経験がないので引っ込みがつかなくなって、より大きなトラブルへ

と発展してしまうのです。

すべては、ゲームやインターネットという仮想空間の中だけで自分の思い通りに過ごしてきてしまったために、トラブルを回避するためにはどのようにすればよいのかを子供の時に経験してこなかった結果です。

果たして日本は、このままでよいのでしょうか。そんなことを考えさせられた今回の調査結果でした。みなさんはどのように考え、そして子供たちにどのように伝えていきますか？

1年生

1年担任 丹呉 早由美 松永 美知子

夏休みが明け、早くも1ヶ月が経ちました。子供たち一人一人、毎日活気ある生活を送っています。

休み時間になると、体を思いきり動かして、元気に外遊びをしています。ただ、その様子を見てみると、たくさんの運動経験をさせていく必要を感じる場面が、多々見られます。特に遠投力に関して力が弱いようです。そこで、9月からボールゲームに取り組みました。ゲームを通して、「運動そのものが楽しい！」と思えるような学習を展開する中で、ボールを投げる、捕るといった技能を高めています。目標を明確にした的を準備し、ボールを投げる距離を伸ばしながら、遠投力を伸ばす授業を行っています。

また、固定遊具を活用したいろいろな鉄棒遊びにもチャレンジしています。鉄棒はバランス感覚を磨くには、とても良い遊具といわれています。重力を感じながら身体を操作し、動きと静止を自身でコントロールする力が必要だからです。また、安全面への認識を育てる上でも、大切な遊具であるといわれています。様々な技に挑戦する意欲と達成する喜びを仲間とともに育んでいきたいと思えます。



◎今月の生活目標:あそびのきまりをまもろう じょうぶな体をつくろう
友だちとなかよく遊ぼう

日	月	火	水	木	金	土
	9/28	9/29	9/30	1 都民の日	2 1年遠足(延期の為)	3
4	5 全校朝会 午前授業 (小中一貫合同研究の為) 移動教室前健診 5年(13:15~)	6	7 5年下田移動教室始	8	9 5年下田移動教室終	10 土曜授業公開 (木曜時間割) 手作り遊び集会 (1.2校時)
11	12 体育の日	13 安全指導日 読書週間始	14 児童集会	15 避難訓練(火事) 3,4年防災授業	16 B時程	17 避難拠点訓練
18	19 全校朝会 クラブ⑧	20	21 けやき班遊び 午前授業 (教育会全体研究会の為)	22	23 1学期終業式 読書週間終	24 大北まつり
25	26 2学期始業式 B時程	27	28 児童集会 午前授業 (就学児健康診断の為)	29 道徳授業地区 公開講座・保護 者会123年 14:30~	30 道徳授業地区 公開講座・保護 者会456年 14:30~	31

「手作り遊び集会」

特活主任 伊藤 裕樹

大北小には全学年の児童が入っているけやき班という班があります。月1回水曜日の朝の時間にけやき班遊びという活動があり、異学年が入り交じって楽しく遊んでいます。

その班での関わりを活かし、今月10日の1・2時間目に「手作り遊び集会」を行います。6年生を中心に事前に話し合いを進め、その2時間で遊ぶ物を手作りで作成し、みんなで遊ぶ活動になります。班全員が作成し遊ぶためには、上級生が下級生を思いやる気持ちがとても必要になります。特に6年生が下級生に丁寧に教える場面を見ると、その成長を感じることができます。

当日は、作成場面、遊びの場面それぞれの活動の様子をぜひご覧ください。

副校長通信 「ご注意を」

副校長 大野 正人

秋の彼岸を過ぎ、日に日に日没が早まっています。10月になるとひろば事業や校庭開放等の終了時刻も早まります。ご家庭での対処はいかがでしょうか。帰宅に際しての決まりごと(帰宅時刻や帰る道、逃げ込む場所)や家族間の約束の修正(門限や鍵の受け渡し)など、ご家庭ごとに異なるとは思いますが、改めてご確認をお願いします。また、暗くなると車から自転車を視認しづらくなり、事故も増加しがちです。自転車に乗る際にはヘルメットをかぶり、ランプを点灯するなど、交通安全に気を配るようご指導ください。

研究だより ～2年生 研究授業～

2年担任 加藤 万知

9月16日に体育で「ボール投げゲーム」の研究授業をしました。

体力テストの結果を受け、もっとボール運動に親しんでほしいと思い、今回の授業では「くちばしドッジボール」というゲームを設定しました。通常のドッジボールと違い、コートが三角形にすることで、逃げ場を少なくし、ボール投げが得意な児童も苦手な児童もたくさんボールを投げられるようにと考えました。

授業では、自分たちでチームの作戦を立てて試合をしました。体育館には「いくぞ!」「オーッ!」というファイトコールが元気に響いていました。休み時間のドッジボールではなかなかボールに触れることが苦手な児童も、ルールを工夫したことで積極的にボールを投げたり捕ったりしようとしていました。思っていたよりもたくさんの児童が、足を開いて体重をのせる投げ方を身に付け、勢いよくボールを投げられるようになっていて、私自身も児童の成長に驚きました。

体育で学んだことを生かして、休み時間にも元気よく、色々なボール運動に親しんでほしいと思います。



三角形のくちばし型のコート



チームのみんなで作戦



自分たちで審判、挨拶



友達へのよい声かけを考える